

卵子提供・代理出産で家族をつくる

日時：2018年5月12日(土) 13:00-17:30

場所：日本科学未来館 海王星ルーム

東京都江東区青海 2-3-6 tel.03-3570-9151

- セミナーへの参加費は無料
- 情報交換会への参加費 2,000 円(1 家族につき)
- お名前と連絡先を添えて、申し込みをお願いします。席に限りがありますのでお早めにお申し込みください。

13:00-13:40 清水直子 *Shimizu Naoko*

(さくらライフセイブアソシエイツ代表取締役)

「代理出産と卵子提供の行方」

13:40-14:20 日比野由利 *Hibino Yuri*

(金沢大学大学院医薬保健学総合研究科)

「遺伝的つながり、生物学的つながり」

14:20-15:00 仙波由加里 *Semba Yukari*

(お茶の水女子大学ジェンダー研究所)

「提供精子・卵子でつくられた家族—ニュージーランド・イギリスの事例から」

15:00-17:30

情報交換会 ※情報交換会は、懇親会形式で開催します。ご参加は当事者のみです。



[申込先]

金沢大学医薬保健研究域医学系 環境生態医学・公衆衛生学
日比野由利 tel. 076-265-2218 fax. 076-234-4233
hibino@staff.kanazawa-u.ac.jp

仙波由加里(*Semba Yukari*)

社会学や生命倫理学が専門で、海外での調査研究の経験も豊富で、提供精子や提供卵子で家族になった人々にもインタビューを行っている。テリングについてのガイドブックも翻訳している。ケン・ダニエルズ著/仙波由加里訳(2010)『家族をつくる 提供精子を使った人工受精で子どもを持った人たち』人間と歴史社、仙波由加里他(2018)「日本の精子ドナーの視点による匿名性の問題」『日本生殖看護学会誌』14(1):13-20、など。



清水直子(*Shimizu Naoko*)

コロンビア大学、ニューヨーク大学で学び、MBA 取得。2003 年、ニューヨークでさくらセイブアソシエイツを設立。以来、癌、難病、臓器移植、生殖医療の分野で日米の架け橋となる医療コンサルティングを提供しつづけている。ニューヨークシティ・医療ビジネスリーダーとして、栄誉を授与された。ニューヨーク在住は 21 年以上。



日比野由利 (*Hibino Yuri*)

2010 年から不妊ツーリズムや世界の代理出産について研究を始め、現在は、卵子提供や代理出産で家族となった人々のノーマライゼーションや子どもへのテリングについて関心を持つ。『ルボ生殖ビジネス 世界で「出産」はどう商品化されているか』(朝日選書)、*Gestational Surrogacy in Japan*. E.Scott Sills (ed).*Handbook of Gestational Surrogacy*(Cambridge UP) など。



- 新交通ゆりかもめ 「船の科学館駅」下車、徒歩約 5 分 / 「テレコムセンター駅」下車、徒歩約 4 分
- 東京臨海高速鉄道りんかい線 「東京レポート駅」下車、徒歩約 15 分